

# 学びのスタイル



学部卒業生

理工学研究科

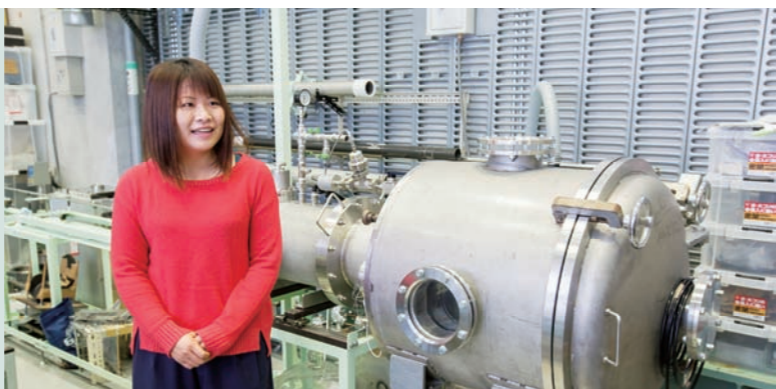
## 機械工学専攻

修士課程2015年度修了  
キヤノン株式会社勤務

外部機関との共同研究により、  
知的好奇心を深掘りする

栗原愛美

法政大学 理工学部 機械工学科卒業後、  
法政大学大学院入学。  
修了後、キヤノン株式会社入社。



My Laboratory | 新井研究室

「バードストライク」「バットとボールの衝突」「スペースデブリ」など、高速衝突防衛材料に関する研究を行う複合材料研究室です。海外発表など、数多くの学会に参加する機会に恵まれ、活気に満ちあふれています。



幼少期から宇宙に対する憧れを抱き、特にロケットや宇宙機などのメカニカルな分野に興味があったため、学部から修士課程まで一貫して材料力学や機械力学、そして宇宙工学といった分野の研究に携わりました。

具体的には、「スペースデブリ(宇宙ゴミ)」に関するもので、専用ソフトを用い、宇宙機にデブリが衝突する際のシミュレーションを行う基礎研究です。これは宇宙航空研究開発機構(JAXA)との共同研究で、私の研究室からは5名が参加し、JAXAにデスクも設けられていました。そのため、研究室で仲間や先生方と苦勞をともにするアカデミックな学びとともに、社会人の方々の実践的な研究活動にも携わることができ、大きなやりがいを感じました。大学院時代にひと足早く仕事の現場に携わった経験は、今後の自分自身に必ず生きてと確信しています。

今後は、幼い頃の初心を忘れずに、社会人として、そして研究者として高度な技術貢献を実践できるよう、これからも「学び」を継続していきたいと考えています。

履修モデル

【夜間開講】

	月		火		水		木		金		土		通年
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
1年次	宇宙飛行体特論				弾性学特論 衝撃破壊工学特論			応用熱力学特論			戦略特論 環境エネルギー技術		機械工学ゼミナール
2年次													機械工学特別実験1 修士論文

※その他1、2年を通して論文指導があります。

留学生

人文科学研究科

## 国際日本学インスティテュート 日本文学専攻

修士課程在学中  
GIORDANO PASSARELLA S.R.L.  
文化財保存修復業(営業)勤務

日本語と日本文化の相互関係を  
研究し知識を積んでいきたい

アレッサンドロ・パッサレラ

ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学卒業後、  
法政大学大学院入学。  
GIORDANO PASSARELLA S.R.L. 文化財保存修復業(営業)。



My Laboratory | 日本文学研究室

翻訳は私の趣味です。日本語、古代ギリシャ語、ラテン語のような言語を訳すプロセスは、文化による発想、価値観、問題対策方法の差などを考えさせられ、固定概念を払拭するための良い思考体操だと思います。日本文学研究室はこの趣味が形になる特別な場所です。



幼い頃から日本文学を原文で読めるようになりたいという思いがあり、高校時代には三島由紀夫や安部公房、坂口安吾などの文学に触れ、古典まで遡って日本文学全体に関心を持つようになりました。しかし、イタリア語で翻訳されたものでは作家の作風を直接味わうことができず、それまで以上に日本語を学ぶことの重要性に気づきました。翻訳に大切な文化的背景を日本で学びたいという思いが強くなったのです。イタリアの大学では、語用論的な観点を取り入れた映像翻訳の研究をしていましたが、研究環境の充実さに魅かれ、法政大学大学院への進学を決めました。国際日本学インスティテュートでは、日本語と日本文化の相互関係を研究し知識を深めています。また、月に2回、研究内容を発表する場が設けられ、国際色豊かな学生が集まり議論しています。相手に「伝える」手法も学べるのが魅力です。将来の夢は作家になることですが、卒業後は法政大学で学んだ知識を活かせる企業で働きたいと考えています。法政大学大学院は刺激の多い環境で今まで知らなかった自分を発見することができます。

履修モデル

【夜間開講】

	月		火		水		木		金		土	
	春学期	通年	通年	通年	春学期	通年	通年	春学期	通年	春学期	通年	
1年次	日本の思想・西欧の思想I		日本語論文作成実習		国際日本学演習 【合同・英文】		日本語の正確I		日本中世芸術研究		文芸と視覚芸術A	国際日本学会同演習
2年次												

※2年次履修科目未定

社会人

公共政策研究科

## 公共政策学専攻

修士課程2015年度修了  
内閣府勤務

市民の意見を反映する仕組みを、  
科学技術政策に取り入れる

星野利彦

立命館大学 文学部 地理学科卒業後、  
科学技術庁(現・文部科学省)入庁、  
社会人学生として法政大学大学院入学。



My Laboratory | 小島研究室

「持続可能な地域社会の創造」をテーマに、都市や農山村の環境、社会・文化、経済など、幅広い政策課題を対象に、市民やNPOなど、多様な主体が関わる新たな行政の仕組みについて、社会実践を通じて研究しています。



大学卒業後、国家公務員として国の科学技術行政に携わっています。科学技術政策は、これまで科学技術の担い手による担い手のための政策として、省庁ごとの専門家集団による「閉じたシステム」のもとで策定されてきました。しかし「新しい公共」などのキーワードで語られるように、公共の担い手は多様化しています。科学技術政策も多様な担い手が参加する「開かれたシステム」のもとで策定されるべきとの思いから、大学院で公共政策学を学び直しました。

研究科では、自治体やNPO、公益法人等の多様な方々と議論する機会に恵まれ、私自身、公共の担い手に関する認識が広がりました。また、専門科目やゼミを通じ、行政への市民参加の理論と実践について、体系的な考察を深められました。今後は、省庁ごとの縦割りではなく、社会全体のサステナビリティを考慮可能な市民参加プロセスを含む科学技術政策の策定に向け、横串的に総合調整できる行政の仕組みの実現を目指し、自身の職務に学びを生かしたいと考えています。

履修モデル

【夜間開講】

	月		火		水		木		金		土	
	春学期	秋学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	春学期	春学期	秋学期	通年・集中	通年・集中	
1年次	公衆衛生研究			フアリティレーション演習	研究入門 サステナビリティ	デザイン論	サステイナブル	地域環境中研究	都市文化論	経済学基礎 サステイナブル地域政策研究	市民参加技法 地球環境学基礎	環境自治体政策研究 人文地理学特殊講義II
2年次		防災力と科学・技術								消費政策・競争政策		地球環境学 論文研究指導

※掲載している履修モデルは、長期履修制度を利用したモデルで、3・4年次に受講した科目もあります。  
(長期履修制度の詳細は、P.12をご覧ください。)